

令和4年度シラバス（地歴）

学番 28 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校

教科（科目）	地理歴史（地理A）	単位数	2	学年	2年
使用教科書	基本地理A（二宮書店）& 新詳高等地図帳（帝国書院）				
副教材等	フォトグラフィア地理図説（東京法令出版）				

1. 学習目標

- ・ 世界の空間認識を深めさせ、各国の日常生活と日本の日常生活の違いを学ぶ
- ・ 世界の生活を学び、諸地域の課題を考察する
- ・ 世界の諸問題（環境・人口・食糧・資源など）の学習を通して、解決策を考えさせる。
- ・ 世界と日本のつながりを学習し「共生」することを学習する。

2. 指導の重点

- ・ 白地図作業・地図作業を通して参加型・探究型の授業を目指す。
- ・ 視覚教材を多用し平板な講義にならないようにする。
- ・ 小テストやレポートの課題により知識の定着を図る。

3. 指導計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	地球規模でとらえる現代世界	球面状の世界 世界の中の日本	地球儀・経緯線・時差 地図と地球儀 日本の位置	地球儀と地図。経緯線の性格。地図投影法 コンピューターマップ 国家の三要素	7	経緯線の違いが理解できるか。対蹠点を求めることができるか。 時差計算
5	結びつく現代社会	情報・通信により一体化する世界 交通の発達	通信の種類 交通機関	携帯電話の普及 インターネットにより結びつく世界 各交通機関の特徴	6	情報がもたらす「世界の狭さ」を理解させる。各交通機関の役割分担
6	結びつく現代社会	国家群	国家間結合の意味	国家群の説明(NATO EU ASEAN等)	4	それぞれの農業分布・内容を理解させる。
	身近な地域の理解	多様さを増す行動	生活行動 消費行動の多様化	労働時間と余暇 新しい消費行動	3	余暇の多様化の理解 日常での生徒の消費行動を考える
7	身近な地域の理解	地域調査	地域調査の基礎知識 地域調査	大縮尺地図の理解 村上市街の特徴	5	地形図読図の理解
9	人々を取りまく環境 地形	大地形	地球表面	陸地と海洋 プレートテクトニクス 大地形（安定陸海 古期造山帯 新期造山帯）	8	地形形成の理解 基本的な大地形の地名の把握
10	地形	小地形	日本の地形	小地形を地形図で読む	6	地形と生活の関係を理解させる

1 1	気候 気候	気候現象 ケッペンの 気候区分	気候因子・要素 気候記号の意 味 各気候区分	気候の大循環・降水 科学的に理解させる 各気候の特徴と生活	8	気候要素などの理 解 記号の意味の理解 気候分布を把握さ せる
1 2	人々を取 りまく産 業	農業分布	自然環境と農 業 農業分布	気候と関連づけて各農 業区分の説明	6	商品作物と需給関 係の理解
1	人々を取 りまく文 化	文化とは	宗教・言語 多様な民族 民族紛争	宗教・言語と文化の関 わり 世界の民族紛争の事例	6	三大宗教や語族の 理解
2	世界地誌	東南アジア アフリカ	東南アジアの 生活 アフリ カの生活	モンスーンアジアの生 活と日本の差異 アフリカの諸問題中心	6	日本とどこが同じ でどこが違うか
3	地球的課 題	人口問題 食糧問題 環境問題	それぞれの問 題の把握	人口爆発・少子高齢化 人口増加と食糧需給 いくつかの環境問題	5	それぞれの問題を 認識できるか

計 70 時間 (50 分授業)

4. 課題提出物等

白地図作業の課題 小テストをたくさんやるので家庭での勉強、必要に応じてノートの提出、調べ学習によるレポートなど

5. 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
○地理的事象に対する関心を高め、歴史上の諸課題について問題意識を持って意欲的に追究している。	○ 地理的事象から課題を見だし、多面的・多角的に考察している。 ○ 諸課題について、地理的条件と関連付けながら、国際社会の変化を踏まえて公正に判断している。	○ 地理的事象についての諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができる。 ○ 資料や情報を効果的に活用することを通して地理的事象について追究する学び方を身に付けている。	○日本と世界の生活・文化の特色についての基本的な知識を身に付けている。 ○世界各地の地理的条件を自然と関連付けながら理解している。
【評価方法】 考査の点数 ・課題提出・授業態度	【評価方法】 考査の点数 ・課題提出・授業態度	【評価方法】 考査の点数 ・課題提出・授業態度	【評価方法】 考査の点数 ・課題提出・授業態度

以上の観点を踏まえ評価する。

6. 担当者からの一言

世界の多くの国を知ったり日本の地理的な基礎知識は社会に出て直接的に役立つ知識です。いろんな風景を見てその成り立ちを考えたり、外国へ行って違う文化にふれることは自分を成長させます。楽しくかつ真剣に勉強しましょう。
